



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多様な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

健康のために、谷戸へ集まきましょう

冬を飛び越して春のような陽気が続いたせいも、人間の自粛ムードに合わせて、本物の春の到来感が薄れている昨今です。この際、人混みは避けて、谷戸のおいしい空気を吸いながら、農作業で体を動かしてみませんか。

お知らせ

オリエンテーション
4/12(日)10:00~12:00

申し込み・お問い合わせはメール、電話にて当会まで

(公財)イオン環境財団助成決定

(公財)イオン環境財団より環境活動助成事業として谷戸塾が採択されました。生物多様性の保全活動に助成されるものです。

春の谷戸まつりは新型コロナウイルスの影響で中止になりました

新規募集

里山探検隊

農体験や谷戸の遊び、かまどで炊き出しなどをします。

- ★小学生(会員)対象
- ★定員 50名(先着順)
- ★全6回 通年参加できる方
- ★活動時間 10時~13時

4/1より申し込み開始

保護者の方へ

オリエンテーション4/12(日)にご参加ください。

谷戸塾

保全作業、観察会、農芸体験で谷戸を学びます。

- ★活動時間
9:30~12:00
(保全作業)
13:30~15:00
(座学)

自然だより

～ 春のチョウと谷戸の畑 ～

3月の暖かい日、キチョウ、キタテハなど、冬を越したチョウが飛び始めます。冬の間はどこにいたのでしょうか？谷戸で越冬するチョウは7～8種類もいます。3月下旬になると、ベニシジミ、モンシロチョウなど、春のチョウが羽化（サナギからチョウになること）してきます。菜の花に集まるチョウは春のイメージです。でも畑が少なくなった鎌倉では、そんな風景はめずらしくなりました。谷戸の畑には、菜の花（取り残されたりしたアブラナ科の作物）が咲くので、春らしい情景が見られます。生態系保全班では毎月チョウの調査を続けていますが、最も多くチョウが見られるのは畑の周辺です。少し手入れが行きとどかない畑の方が、生態系を豊かにしているようです。案外知られていないことですが、谷戸（鎌倉）ではモンシロチョウが少ないのです。モンシロチョウとされているチョウのほとんどは、スジグロシロチョウ（筋黒白チョウ）です。モンシロチョウの幼虫はキャベツなど畑の作物で育つといわれています。一方、スジグロシロチョウの幼虫が育つのは、道端などに生えるイヌガラシという野草です。広々とした畑が少ない近年の鎌倉ではモンシロチョウが少なくなっているのかもしれませんが、谷戸で忘れてはならないチョウに、ツマキチョウが挙げられます。オスは翅の隅が黄色いのでツマキチョウと呼ばれているのでしょうか。白いチョウなのでモンシロチョウだと思われている人が大半ではないでしょうか。タネツケバナという湿地の野草に産卵するチョウなので、山のハイキングコースや住宅街では見られません。田んぼや湿地がある谷戸ならではのチョウと言えるでしょう。谷戸には様々なチョウが生息しています。四季折々のチョウと谷戸の環境を次号以降ご紹介したいと思います。

谷戸の様子 成虫で越冬する珍しいトンボ（糸トンボ）、ホソミオツネトンボ スジグロシロチョウ

（細身越冬トンボ）を谷戸の畑で見ました。水辺から離れた場所で冬を越すのでしょうか。例年2月に産卵するアカガエルが1月下旬から産卵を始めました。気温の上昇と雨が重なるタイミングで産卵するようです。毎年2月になると、野鳥の食料が不足してくるせいか、思わぬ野鳥が谷戸に現れます。普段は柏尾川にいるカワウが池で餌を採っています。また、谷戸では滅多に見られないホシハジロ（頭が赤茶色で美しいカモの一種）も来ています。カワセミやコサギ（白いサギ）の姿も良く見えます。



谷戸往来

体験学習

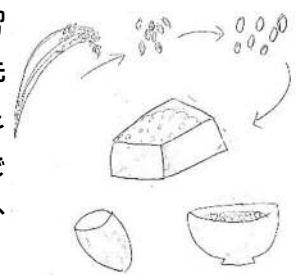
寄附をいただきました 2019年度、以下の方に寄付をいただきました。谷戸保全活動に有効に使わせていただきます。ありがとうございました。（敬称略）磯尾佳代子 市川由美子 岡村静子 岡野万里 木埜山康子 早乙女千博 田中たかね 田中敏恵 佐伯有紀子 安田紀代子 山本勝久 和田英幸

山崎小収穫祭 1/29(水) **鎌倉市職員研修** 2/5(水) 鎌倉市の職員が市民協働研修を行いました。感想「多様な市民が集まり、貴重な生態系を守っていることを実感しました」「活動継続に貢献できるように努めていきたい」

深沢中学3年生による里山保全作業 2/21(金)

玉縄中学 3/2(月)予定 風致保存会主催で中学3年生173人が熱心に作業をしました。日頃手が回らない保全地区の手入れができ助かりました。

（深沢小5・収穫祭）昔の人々はうまくご飯をたたくのに苦労し、技を持っていると思うとすごいなと思いました。谷戸で学習したことがぎっとこの先なんらかの形でやくにたつと思うので、これまでにしたことをおぼえていたいと思います。




（教育支援教室ひだまり中3）落ち葉集めをしました。やってみるととても楽しかったです。やり方としては、集めた落ち葉をふくろにつめて、むすんだふくろを上の方から投げ落とし、ふくろの中の落ち葉を最終的に、一つの場所でまとめるといった作業です。ただ、苦労したのはふくろから落ち葉を出すときでした。ふくろはむすんであるし、むすびがほどけても落ち葉がふくろから中々でてこないの、かなり苦労しました。

各班のお知らせ

田んぼ班

また新たなシーズンが巡ってきました。籾殻くん炭、苗床耕しと4月初旬の種籾蒔きの準備も整いつつあります。4月中旬からの田んぼでの作業の前段階として、傷んだ畔の修理から始めています。



 2/2 籾殻くん炭

畑班

暖冬で1月に絹さやの花が咲いてビックリ。一方で冬蒔き大根は成長が遅くヤキモキ。3月以降は連作を避け、昨年と場所を変えてじゃがいも、さといも、そしてさつまいもと順次植え付けます。

雑木林管理班

1月に毎木調査を実施しました。谷戸の木々は例年通り、一年間で約2~3%大きくなっていました。これから春を迎えるまでに下草刈りを行い、新しい草花の芽吹きを待ちたいと思います。

自然遊び班

里山探検隊「収穫祭」★おみそすると田んぼでとれたこおりがおいしかった。(小3) ★だいこんをとりに行き、思ったよりもかるくめけてびっくりした。(小5) おもちがおいしかった。(小2)



 2/9 里山探検隊


農芸班

稲や小麦の「わら」は、今ではなかなか手に入らない希少素材。手刈りで無農薬の谷戸のわらは、エコの象徴。下準備の手間を惜しまず、独特なめくもりをお伝えしたいと農閑期も地道な作業をしています。

生態系保全班

アカガエルの産卵数を調べるだけでなく位置も記録することにしました。最近、大量に卵を持ち去る人がいるためです。今年は今のところ被害はないようですが、産卵数が少ないのが気になります。



 2/20 土手の草刈り

植物育成班

早春の日当たりがよくないと、植物はよい芽を出しません。今年も小段谷戸東側の土手を刈り、木の枝払いをしました。小段谷戸西側の土手は、今まで放置されていたのですが、笹を刈り始めました

3月

- 1日 (日) 田 道具の手入れ ☆
 畑 道具の手入れ ☆
 雑 山作業道具の手入れ ☆
 講座 「谷戸歩き」 ☆
- 4日 (水) 生 オタマジャクシの保護作業 ❖
- 8日 (日) 田 畔・水口直し
 畑 じゃがいもの植付け ❖
 雑 雑木林の除間伐
 自 里山探検隊「雑木林の伐採」
- 15日 (日) 田 畔・水口直し
 雑 雑木林の除間伐
- 18日 (水) 畑 大根の間引き・草取り
- 22日 (日) 雑 雑木林の除間伐 ❖
- 25日 (水) 畑 さといも予定地の耕し
- 29日 (日) 雑 間伐材の活用 ❖

4月

- 1日 (水) 植 サクラの観察
- 4日 (土) 田 浸種
- 5日 (日) 田 ため池整備・苗床整地
 雑 ため池整備
- 11日 (土) 田 種籾蒔き
- 12日 (日) オリエンテーション
- 田 種籾蒔き ☆
 雑 竹林の整備 ☆
- 13日 (月) 畑 さといも予定地畝作り
- 15日 (水) 生 春の花とチョウの観察
- 19日 (日) 田 田うない
 畑 さといもの植付け
- 22日 (水) 畑 畑の整備
- 26日 (日) 田 田うない

5月

- 3日 (日) 田 田うない ☆
- 6日 (水・祝) 田 畔草刈り・苗床草取り
- 10日 (日) 田 くろつけ ☆
 自 里山探検隊
 「さつまいも苗植え」
- 11日 (月) 畑 さつまいも畝作り ☆
- 13日 (水) 生 初夏の花とチョウの観察
- 16日 (土) 田 くろつけ
- 17日 (日) 田 くろつけ ☆
 畑 大麦の刈り取り
- 20日 (水) 畑 さつまいも苗植え ☆
- 23日 (土) 田 しろかき ☆
- 24日 (日) 田 しろかき
- 30日 (土) 田 田植え
- 31日 (日) 田 田植え ☆

☆ 谷戸塾

班活動は、9時半に農家風休憩舎に集合

田：田んぼ班

畑：畑班

雑：雑木林管理班

農：農芸班

自：自然遊び班

生：生態系保全班

植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く10時～16時

ホームページ：<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号（会報97号）は、2020年5月に発行予定

